



優しい風の吹く街

第9号 2005年7月10日発行

北野さと子の議員活動も3年目に入りました。少しは議員らしくなったのだろうかと思ふ返るこの頃です。これから、様々な人とお話する機会を作って人間としての視野を広げ、正しい判断ができる力をつけることを目標に、一生懸命勉強していこうと思います。

4月18日・19日
国会へ

研修&視察



水岡俊一参議院議員
宝塚・北野
川西・辻議員
西宮・岩下議員
伊丹・川上議員

今年度の所属が決まりました！

- 文教厚生常任委員会
- 環境対策調査特別委員会
- 温泉審議会
- 社会教育委員
- 監査委員

活動報告 ~抜粋~

- 3/24 議員全員協議会
- 3/31 救急隊発足式
- 4/18.19 国会視察
- 4/28 指定管理者制度勉強会
- 4/29 兵庫県メーデー
- 4/30 花と緑のフェスティバル
- 5/5 まちづくりフェスティバル
- 5/12 社会教育委員の会議
- 5/14 民主党兵庫県連常任幹事会
- 5/16 早朝勉強会（伊丹）
- 5/17 臨時市議会
- 5/22 社会を明るくする運動
- 5/25 男女共同参画基本計画策定に
向けての内閣府公聴会
- 5/27 国際観光協会総会
- 5/28 宝塚伝統芸能フェスティバル
- 5/30 手をつなぐ育成会総会
- 6/3 監査委員会議 例月出納検査
- 6/4 民主党兵庫県連常任幹事会
- 6/6 6区早朝協議会
- 6/9.10 13.14 本会議
- 6/16 文教・厚生常任委員会
監査委員会議
- 6/22 監査委員会議
- 6/23 本会議

1. 子どもと学校を守る安全指針について

【質問・要望】

- ①学校安全のための方策の再点検の状況は。
- ②学校安全職員制度を提案する。その方向性は。
- ③安全のため学校を高い塀で囲む等の隔離的な発想ではなく「開いて守る」を基本スタンスにすべきでは。
- ④機械的管理を越え、子どもや教職員の命を守り、安全で快適な学校環境の維持管理等を基本理念とした「学校安全条例」の制定を。

【教育長答弁】

- ①各学校園で緊急対応マニュアルを作成や安全対策委員会を設置し、具体的に即した対応に取り組んでいる。
- ②全ての学校園に専門職員を配置することは難しく、PTAや地域にご協力をいただいている。
- ③保護者や地域の協力を得ながら、開かれた特色ある学校園作りに努め、より多くの目で見守り、抑止効果をあげていきたい。
- ④学校安全条例については、実現に向けての研究を進めていきたい。

学校の安全に関して組織的・継続的な対応を。
命の大切さを感じ生きる力を育む教育の推進を要望

2. 食の安全について

【質問・要望】

- ①小中学校における食物アレルギー等の実態把握は。
- ②学校給食での対応・情報提供の状況は。
- ③自治体として総合的な対応の組織構築が必要ではないか。
- ④生きる力を養う「食教育」について

【教育長答弁】

- ①食物アレルギーを持つ児童生徒は増加傾向にある。
小学校で約600名(約5%)
中学校で約140名(約3%)
- ②アレルギーの原因物質を取り除いた「除去食」の提供や、安全な食材の調達に努めている。また、情報は学校給食献立表等を通じて、学校・保護者に周知を図っている。
- ③各学校の個別的な対応に止まっている現状を改善し、統一的基準を設け、組織的な対応を図っていききたい。
- ④学校給食、学校教育を通して、食物に関する正しい知識や望ましい食習慣を身につけ、生きる力を持つ子供を育てていきたい。



3. 「社会的ひきこもり」をめぐる 地域精神保健福祉活動について

【質問・要望】

- ①現在の宝塚市における「ひきこもり」の実態把握について
- ②家族への相談体制の強化について
- ③訪問ケア、居場所づくり、自立支援等の総合的な支援体制について

【教育長答弁】

- ①引きこもりに関する相談指導は県・市の業務だが、引きこもりという特殊性から、実態把握は大変困難。
- ②精神科医や保健師による相談や引きこもりの家族教室が実施されている。市の相談窓口でも対応している。
- ③県の専門機関と連携を図りながら、対応していきたい。

←〈今議会から 2次質問は発言席で行うことになりました〉



監査委員になりました

「公正不偏」の立場を保持すること

市長から監査委員の辞令をいただきました。その後、藤本代表監査の立ち会いのもと、前監査委員の杉本議員との引き継ぎを行いました。

1年生議員の私には大変重い職責ですが、しっかり勉強し、公正な監査活動をしていきます。

文教厚生常任委員会

はじめに、請願審議を行いました。請願者の長尾小学校の待機児童の保護者や地域児童育成会連絡会の方々が陳述と傍聴にられました。

社会の状況の変化のなかで地域児童育成会へのニーズが非常に高くなってきている現在、抜本的な見直しが必要です。・・・が、今回は迫って来ている「夏休みの通会」に限定しての請願でした。それに対して教育委員会は、「なんらかの手だては必ず行う」と言明！委員会の手だてを注視していきたいと思います。

◆第54号 地域児童育成会待機児童における長期休業中の通会についての請願
→〈全員一致で採択〉



活動トピックス



4月22日
新任教職員歓迎ボウリング大会

3月31日救急隊発足と
中田真澄救命士と

動くHOSPITAL～高規格救急車～発動！



宝塚市では7名の女性消防士が活動中です。市民の評判も上々

4月28日 オープンガーデンフェスタ見学

雲雀丘の山麓部は、「宝塚を代表する住宅地」。しゃれた洋館や緑豊かなまちなみは憧れ♪地域緑化推進のモデルのような公園は姫リンゴの生け垣。樹木と花々におおわれたK邸では思わず深呼吸！！酸素いっぱい空間。Kさんは西側のブロック塀を撤去してオープンガーデンにリニューアル。通りかかる人の心も和みます。



5月7日 復興住宅の人々の交流



市営安倉南住宅では、土曜の午後のひととき、週に一度のふれあいサロンが開かれています。私も一緒に楽しんでいます。

阪神淡路大震災で被災した人々が暮らすこの住宅は高齢化率も高く、独居の方も増えています。だから、週一度のこのサロンに集うことで、つながりが広がりお一人おひとりの心を和ませているようです。

近隣からの参加も増え、週明けにはバラ公園への遠足。また困ったときの相談ごとでも話せますし、高齢世帯生活相談員（SCS）の力を借りることもできます。

このような「見守り」施策・・・市でもさらに応援・充実させていきたいものです。

〈発行人〉北野 さと子

〈連絡先〉

〒665-0034 宝塚市小林2丁目 12-27-209

Tel&Fax 0797-73-4556

ホームページ <http://www.kitanosatoko.com/>